

ユーシン

景況レポート

Number.92
(2017.4~6月期)

結城信用金庫

■ このレポートは、当金庫のお客様231企業(回答企業222企業)について、景気の現状と今後の見通しを調査したものです。

調査結果のあらまし

業況は卸売業・小売業・サービス業で改善

4月~6月期の概況

茨城県西地域の中小企業の業況判断D.I(「良い」と答えた企業の割合から「悪い」と答えた企業の割合を差し引いた指標)は $\Delta 6.8$ と、2017年1~3月期(前期)の調査より3.6ポイント改善しました。

業種別では、建設業で前期比5.8ポイント低下しましたが、卸売業は前期比9.7ポイント、小売業は同4.8ポイント、サービス業は同17.2ポイントそれぞれ改善し、製造業と不動産業は横ばいとなりました。

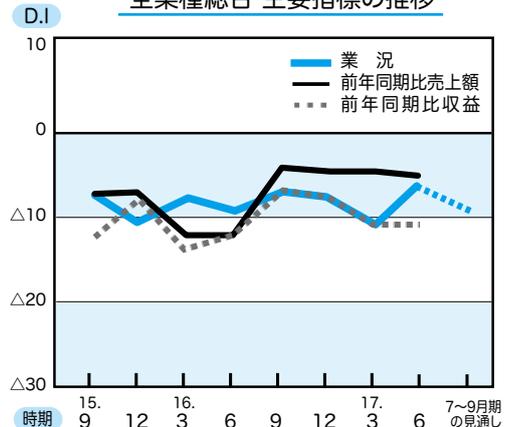
項目別では、売上判断D.Iは $\Delta 3.2$ と前期比5.4ポイント、収益判断D.Iは $\Delta 8.6$ と同1.8ポイントともに改善。また、前年同期比売上額判断D.Iは $\Delta 5.4$ 、同0.9ポイント低下、同収益判断D.Iは $\Delta 10.9$ と横ばいでした。

雇用面では、人手過不足D.Iは $\Delta 18.6$ と前期比2.7ポイント低下し、人手不足感がやや強まりました。また、前期比残業時間D.Iも0.9と同1.8ポイント低下しました。

借入金の動きや借入難易度では特に大きな変化は見られませんでした。

経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」が36.7%、「同業者間の競争激化」が33.5%、「利幅の縮小」が21.3%で上位となり、前期と同様の課題が挙げられました。

全業種総合 主要指標の推移



7月~9月期の見通し

業況の見通し判断D.Iは $\Delta 9.5$ 、実績比2.7ポイント低下の見込

来期は、卸売業で改善、サービス業が横ばい、その他の業種では低下を見込んでいます。項目別では、売上判断D.Iは横ばい、収益判断D.Iは当期実績比3.6ポイント改善、販売価格判断D.Iは同1.4ポイント改善を見込んでいます。雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iは当期実績比0.5ポイント改善、また、残業時間D.Iは同2.7ポイント低下の見通しとなっています。

当面の重点施策でも、「経費の節減」が54.3%、「販路を広げる」が43.4%、「人材を確保する」が20.8%と上位になり、前期と同様の結果となりました。

景況天気図

〔この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成しました〕

業種名	時期	29年1~3月	29年4~6月	29年7~9月見通し	概要	要
総合					業況判断D.Iは、3.6ポイント改善し $\Delta 6.8$ 。来期は、2.7ポイント低下し $\Delta 9.5$ の見通し。	
製造業					業況判断D.Iは、横ばいの $\Delta 2.9$ 。来期は、4.5ポイント低下し $\Delta 7.4$ の見通し。	
卸売業					業況判断D.Iは、9.7ポイント改善し $\Delta 12.9$ 。来期は、16.2ポイント改善し3.3の見通し。	
小売業					業況判断D.Iは、4.8ポイント改善し $\Delta 26.9$ 。来期は、7.3ポイント低下し $\Delta 34.2$ の見通し。	
サービス業					業況判断D.Iは、17.2ポイント改善し3.4。来期は、0.1ポイント改善し、3.5の見通し。	
建設業					業況判断D.Iは、5.8ポイント低下し2.8。来期は、8.5ポイント低下し $\Delta 5.7$ の見通し。	
不動産業					業況判断D.Iは、横ばいの0.0。来期は、11.8ポイント低下し $\Delta 11.8$ の見通し。	

好調 ← → 低調 / 業況改善 業況悪化 業況変化なし

■ 製造業

回答企業数68企業(回答率94.4%)

【業況】

4~6月の実績	16.2	64.7	19.1
7~9月の見通し	13.2	66.2	20.6

【売上額】

4~6月の実績	17.4	66.7	15.9
7~9月の見通し	17.4	66.7	15.9

【原材料価格】

4~6月の実績	15.9	79.7	4.3
7~9月の見通し	8.7	88.4	2.9

【収益】

4~6月の実績	15.9	66.7	17.4
7~9月の見通し	17.4	66.7	15.9

■ 増加(良い) □ 変わらず(変化無し) ■ 減少(悪い)

4月~6月期の概況

業況判断D.Iは△2.9、前期比横ばい

項目別では、売上額判断D.Iが1.5と前期比3.0ポイント改善、収益判断D.Iでは△1.5と同2.9ポイント改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが7.2、同5.7ポイント、同収益判断D.Iが4.3、同8.7ポイントともに改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iは△24.6と前期比1.1ポイント低下し、人手不足感がやや強まりました。また、前期比残業時間D.Iも0.0と同7.4ポイント低下しました。

借入金の動きでは、「借入した」が24.6%（前期23.5%）、「予定あり」が18.2%（前期17.9%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は17.6%（前期17.6%）となりました。

経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」が30.9%、「原材料高」が25.0%、「人手不足」が23.5%と上位に挙げられました。

7月~9月期の見通し

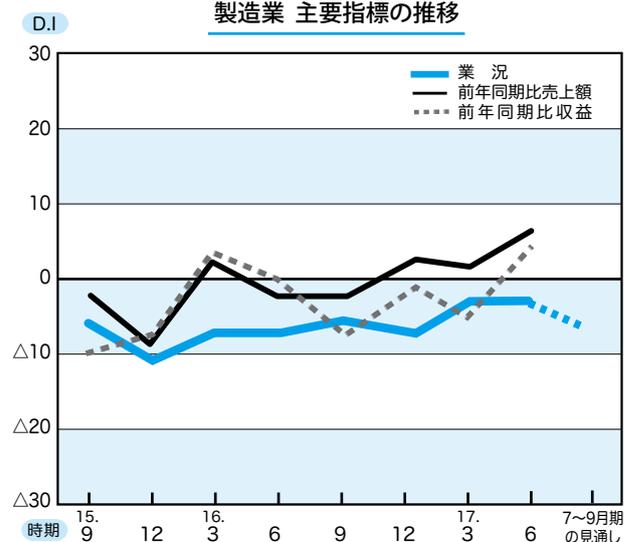
業況の見通し判断D.Iは△7.4、当期実績比4.5ポイント低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iは当期実績比横ばい、収益判断D.Iは同3.0ポイント改善、販売価格判断D.Iは同2.9ポイント低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iは当期実績比1.5ポイント低下、残業時間D.Iは同2.9ポイント改善の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が60.3%、「販路を広げる」が54.4%、「人材を確保する」が22.1%と上位に挙げられました。

製造業 主要指標の推移



調査員のコメントから

当社は、女性の割合が大きく、今後も更なる活躍が期待できるため、労働条件・労働環境を見直すことが課題。

■ 卸 売 業

回答企業数31企業(回答率93.9%)

【業 況】

4～6月の実績	16.1	54.8	29.0
7～9月の見通し	22.6	58.1	19.3

【売上額】

4～6月の実績	22.6	48.4	29.0
7～9月の見通し	22.6	54.8	22.6

【仕入価格】

4～6月の実績	22.6	74.2	3.2
7～9月の見通し	19.4	74.2	6.4

【収 益】

4～6月の実績	22.6	54.8	22.6
7～9月の見通し	22.6	54.8	22.6

■ 増加(良い) □ 変わらず(変化無し) ■ 減少(悪い)

4月～6月期の概況

業況判断D.Iは△12.9、前期比9.7ポイントの改善

項目別では、売上額判断D.Iは△6.4と前期比6.5ポイント、収益判断D.Iは0.0と同9.7ポイントともに改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iは△6.5、前期比3.2ポイント、同収益判断D.Iは△9.7、同6.4ポイントともに改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△6.5と前期比6.5ポイント低下し、人手不足感がやや強まりました。また、前期比残業時間D.Iも0.0と同3.2ポイント低下しました。

借入金の動きでは、「借入した」が25.8%（前期25.8%）、「予定あり」が20.7%（同13.3%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は16.1%（前期9.7%）となりました。

経営上の問題点では、「同業者間の競争激化」が48.4%、「売上の停滞・減少」が41.9%、「取引先の減少」が25.8%と上位に挙げられました。

7月～9月期の見通し

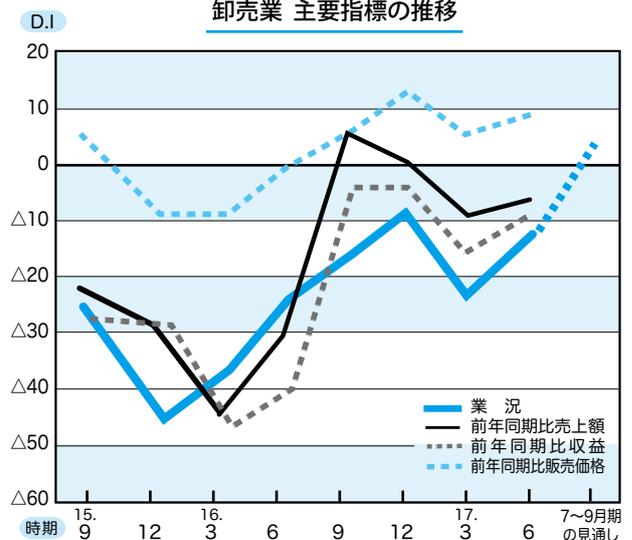
業績の見通し判断D.Iは3.3、当期実績比16.2ポイント改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iは当期実績比6.5ポイント改善、収益判断D.I、販売価格判断D.Iともに横ばいを見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iは当期実績比3.3ポイント改善、残業時間判断D.Iは同3.2ポイント低下の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「販路を広げる」が71.0%、「経費の節減」が54.8%、「情報力の強化」が32.3%と上位に挙げられました。

卸売業 主要指標の推移



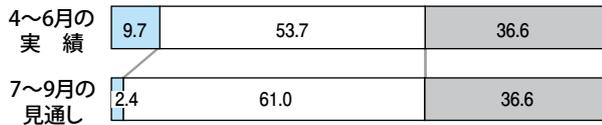
調査員のコメントから

概ね順調に推移しており、現在、新商品の開発にも積極的に取組みながら、ネット販売等も利用して売上増加を図っている。

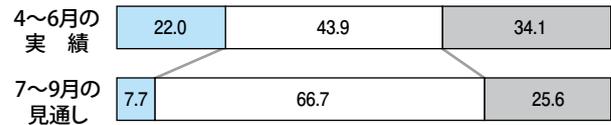
■ 小 売 業

回答企業数41企業(回答率100%)

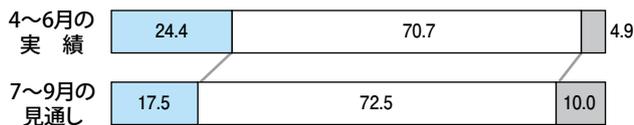
【業 況】



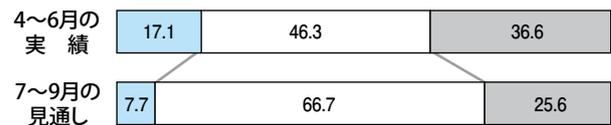
【売上額】



【仕入価格】



【収 益】



■ 増加(良い) □ 変わらず(変化無し) ■ 減少(悪い)

4月～6月期の概況

業況判断D.Iは△26.9、前期比4.8ポイントの改善

項目別では、売上額判断D.Iが△12.1と前期比5.0ポイント改善、収益判断D.Iは△19.5と同横ばいでした。また、前年同期比売上額判断D.Iが△9.8、前期比7.3ポイント、同収益判断D.Iは△22.0、同2.4ポイントともに改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△12.5と前期比2.5ポイント低下し、人手不足感がやや強まりました。また、前期比残業時間D.Iは0.0と前期比7.5ポイント増加しました。

借入金の動きでは、「借入した」が24.4%（前期22.0%）、「予定あり」が19.5%（前期22.5%）を示しています。また、設備投資を実施したと回答した企業は14.6%（前期17.1%）となりました。

経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」が53.7%、「同業者間の競争激化」が31.7%、「大型店との競争激化」が24.4%と上位に挙げられました。

7月～9月期の見通し

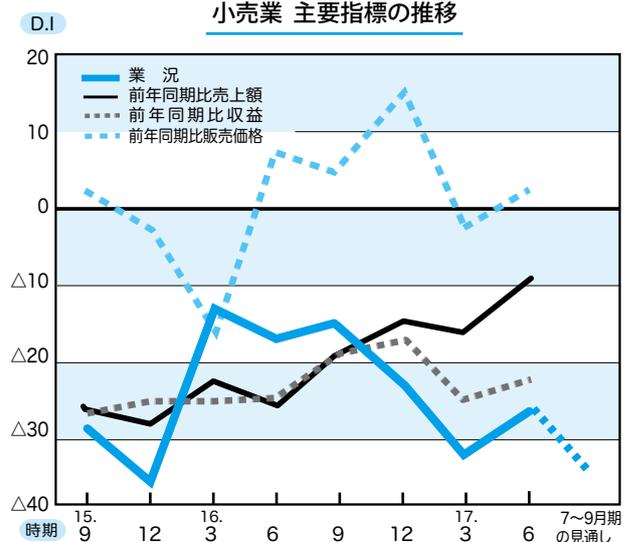
業況の見通し判断D.Iは△34.2、当期実績比7.3ポイント低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比5.8ポイント低下、収益判断D.Iは同1.6ポイント、販売価格判断D.Iは同7.4ポイントともに改善を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比2.5ポイント低下、また、残業時間判断D.Iも同2.5ポイント低下の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が53.7%、「売れ筋商品の取扱」が31.7%、「品揃えを改善する」が26.8%と上位に挙げられました。

小売業 主要指標の推移



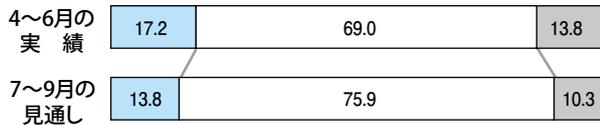
調査員のコメントから

同業他社との競合で収益環境に影響が出ており、今後、どのようにして他社との差別化を図り、顧客を獲得できるかが課題。

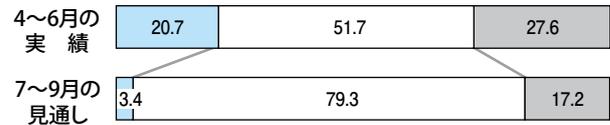
■ サービス業

回答企業数29企業(回答率93.5%)

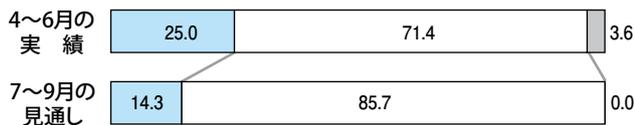
【業況】



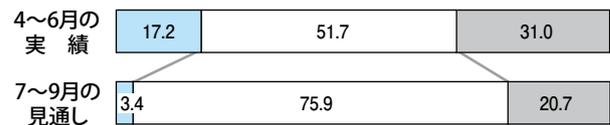
【売上額】



【材料価格】



【収益】



■ 増加(良い)
 ■ 変わらず(変化無し)
 ■ 減少(悪い)

4月～6月期の概況

業況判断D.Iは3.4、前期比17.2ポイントの改善

項目別では、売上額判断D.Iが△6.9、前期比34.5ポイント、収益判断D.Iが△13.8と同20.7ポイントともに改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△17.2、前期比横ばい、同収益判断D.Iは△17.2、同3.5ポイント改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△10.3と横ばい、前期比残業時間D.Iは0.0と前期比3.4ポイント改善しました。

借入金の動きでは、「借入した」が10.7%（前期20.7%）、「予定あり」が10.3%（前期7.1%）を示しています。また、設備投資を実施したと回答した企業は10.3%（前期17.2%）となりました。

経営上の問題点では、「同業者間の競争激化」が41.4%、「売上の停滞・減少」が34.5%、「利幅の縮小」が20.7%上位に挙げられました。

7月～9月期の見通し

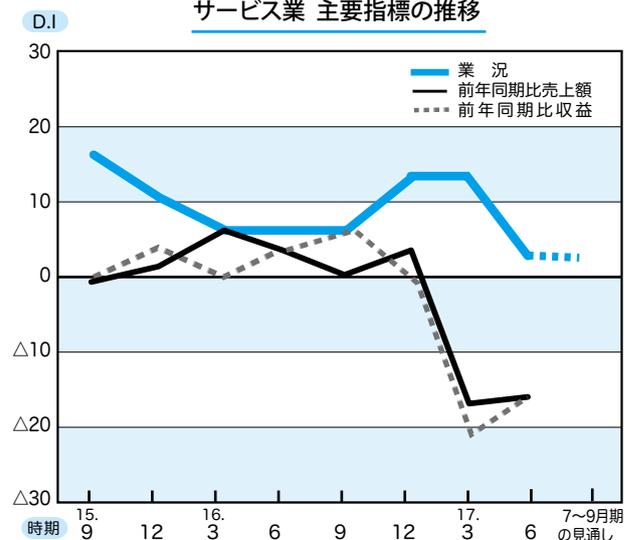
業況の見通し判断D.Iは3.5、当期実績比0.1ポイント改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比6.9ポイント、収益判断D.Iでは同3.5ポイントともに低下を見込んでいます。また、材料価格判断D.Iは当期実績比7.1ポイントの低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iは当期実績比6.9ポイント増加、また、残業時間判断D.Iは同3.4ポイント低下の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が51.7%、「販路を広げる」が44.8%、「技術力の強化」が24.1%と上位に挙げられました。

サービス業 主要指標の推移



調査員のコメントから

新規取引先からの受注要請はあるものの、そのための設備投資を投下できない。若手従業員の確保が課題。

■ 建設業

回答企業数35企業(回答率97.2%)

【業況】

4~6月の実績	17.1	68.6	14.3
7~9月の見通し	11.4	71.4	17.1

【売上額】

4~6月の実績	25.7	57.1	17.1
7~9月の見通し	22.9	60.0	17.1

【材料価格】

4~6月の実績	31.4	65.7	2.9
7~9月の見通し	20.0	77.1	2.9

【収益】

4~6月の実績	14.3	60.0	25.7
7~9月の見通し	14.3	68.6	17.1

■ 増加(良い) □ 変わらず(変化無し) ■ 減少(悪い)

4月~6月期の概況

業況判断D.Iは2.8、前期比5.8ポイントの低下

項目別では、売上額判断D.Iが8.6と前期比5.7ポイント低下、受注残判断D.Iも2.9と同2.8ポイント低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iは△11.4、前期比22.8ポイント低下、同収益判断D.Iも△22.9、同22.9ポイント低下しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△31.4と前期比2.8ポイント低下し、人手不足感がやや強まりました。また、前期比残業時間D.Iも△2.9と前期比14.3ポイント低下しました。

借入金の動きでは、「借入した」が28.6%（前期31.4%）、「予定あり」が25.7%（前期31.4%）を示しています。また、設備投資を実施したと回答した企業は22.9%（前期14.3%）となりました。

経営上の問題点では「同業者間の競争激化」が48.6%、「人手不足」が45.7%、「利幅の縮小」が34.3%と上位に挙げられました。

7月~9月期の見通し

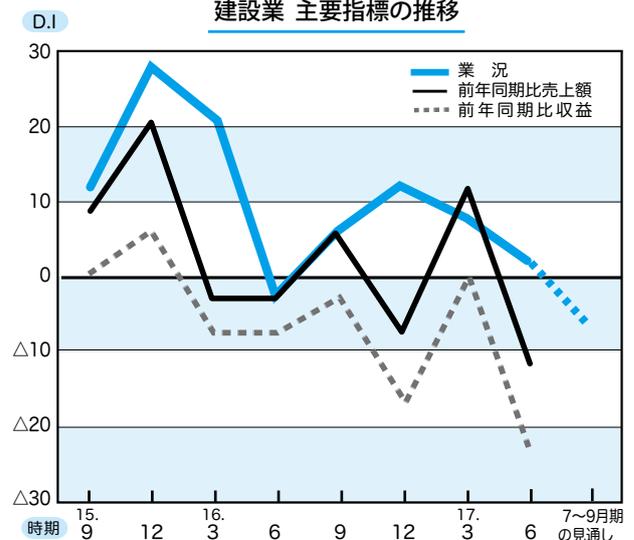
業況の見通し判断D.Iは△5.7、当期比8.5ポイント低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比2.8ポイント低下、収益判断D.Iは同8.6ポイント改善、また、材料価格判断D.Iでは同11.4ポイント低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iは当期実績比横ばい、残業時間判断D.Iは同5.7ポイント低下の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が62.9%、「人材を確保する」が45.7%、「販路を広げる」が40.0%と上位に挙げられました。

建設業 主要指標の推移



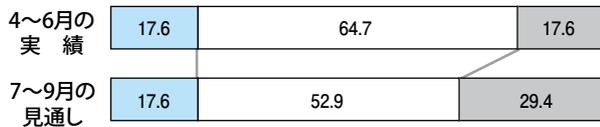
調査員のコメントから

受注があっても人手不足では対応できるものも対応できず、人材の確保・育成が今大きな問題となっている。

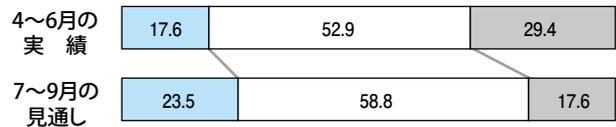
■ 不動産業

回答企業数17企業(回答率94.4%)

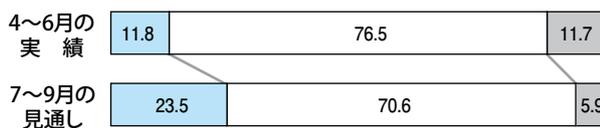
【業況】



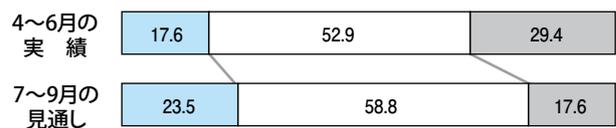
【売上額】



【仕入価格】



【収益】



■ 増加(良い)
 ■ 変わらず(変化無し)
 ■ 減少(悪い)

4月~6月期の概況

業況判断D.Iは0.0、前期比横ばい

項目別では、売上額判断D.Iが△11.8と前期比11.8ポイント、収益判断D.Iも△11.8と同11.8ポイントともに低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△12.5と前期比12.5ポイント、収益判断D.Iも△12.5と同12.5ポイントともに低下しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△17.6と前期比5.8ポイント低下し、人手不足感がやや強まりました。また、前期比残業時間D.Iは17.6と同17.6ポイント改善しました。

借入金の動きでは、「借入した」が35.3%（前期29.4%）、「予定あり」は23.5%（前期23.5%）を示しています。

経営上の問題点では、「同業者間の競争激化」「商品物件の不足」がともに41.2%、「売上の停滞・減少」が35.3%で上位に挙げられました。

7月~9月期の見通し

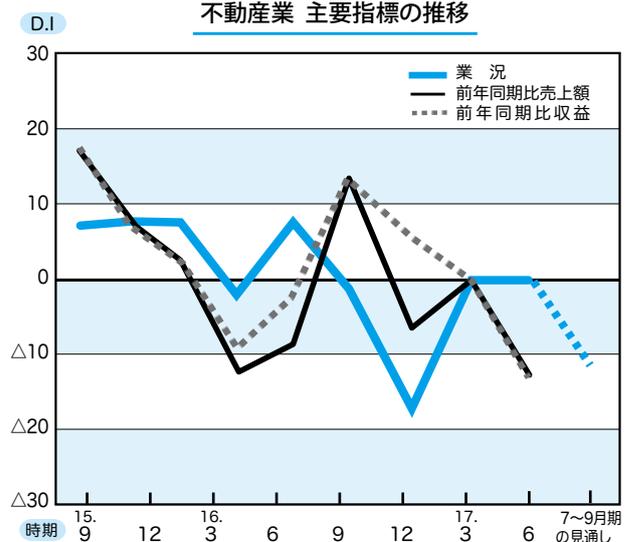
業況の見通し判断D.Iは△11.8、当期実績比11.8ポイント低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比17.7ポイント、収益判断D.Iは同17.7ポイントともに改善、また、販売価格判断D.Iも当期実績比5.9ポイント改善を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iは横ばい、残業時間D.Iは17.6ポイント低下の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「情報力の強化」が64.7%、「販路を広げる」が58.8%、「宣伝・広告の強化」が47.1%と上位に挙げられました。

不動産業 主要指標の推移



調査員のコメントから

現在、アパートの管理業務が主体で不動産の動きは鈍く、売上・収益ともに変化がない状況にある。

特別
調査

中小企業の3～5年後の事業の見通しについて

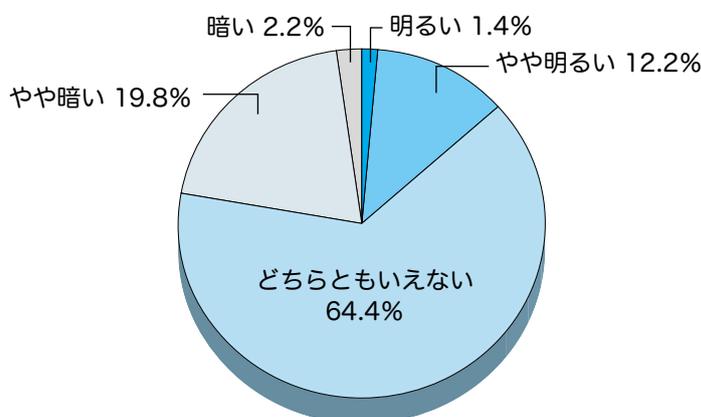
「中小企業の3～5年後の事業の見通し」について調査を実施しました。

貴社では、3～5年後に向けて、安定した事業を続けるために重視する事柄や、現在の事業をどのように展開していきたいか、また、安定した事業を続けるためにどのような状況になれば積極的な設備投資を開始するかなどについて、結果を次のように取り纏めました。安定した事業を続けるために重視する事柄では、「販路・取引先」とする割合が29.1%、現在の事業をどのように展開していきたいかでは、「現在の事業を、現状のまま継続したい」が54.3%を占めております。

以下に、詳しく掲載しております。

問1 貴社では、3～5年後の自社の事業をどのように見通していますか。

(単位:%)

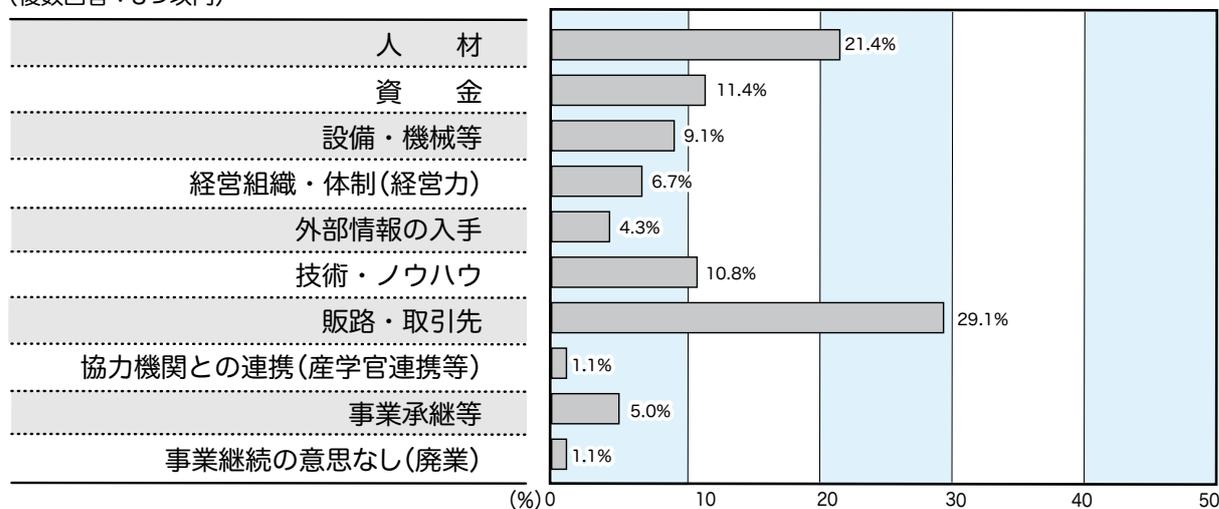


問2 貴社では、3～5年後に向けて安定した事業を続けるために重視する事柄について、どのようにお考えですか。3つ以内で選んでお答えください。

(単位:%)

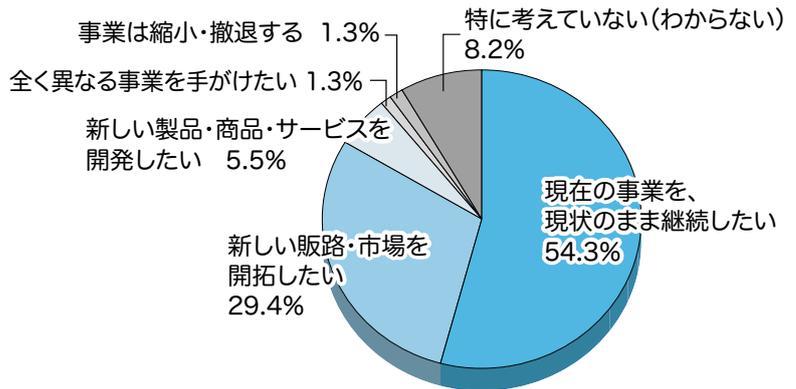
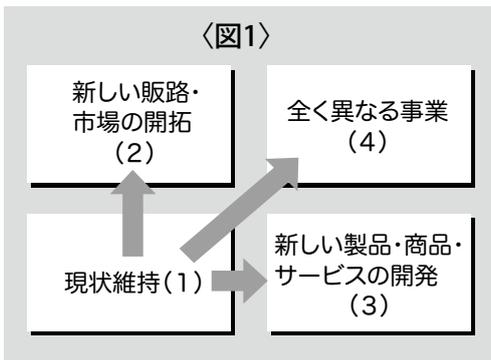
(複数回答：3つ以内)

(単位:%)



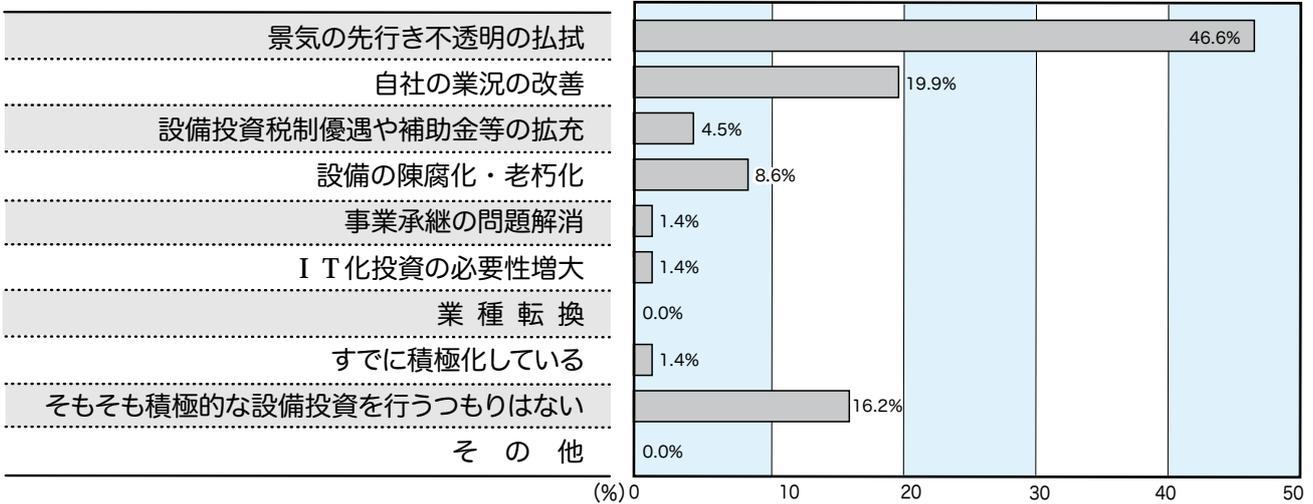
問3

貴社では、3～5年後に向けて、現在の事業をどのように展開していきたいとお考えですか。図1を参考に、最も当てはまるものを1つ選んでお答えください。(単位:%)



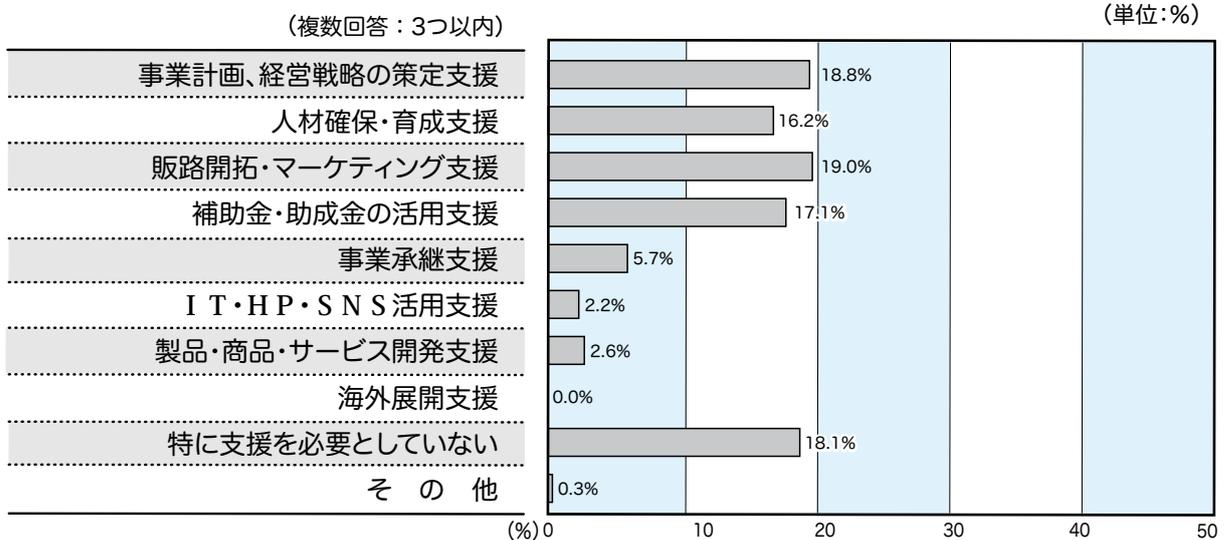
問4

貴社では、3～5年後に向けて安定した事業を続けるために、どのような状況になれば積極的な設備投資を開始しますか。1つ選んでお答えください。(単位:%)



問5

貴社では、3～5年後の事業の継続・発展へ向けて、公的機関、商工会議所、商工会、金融機関等の経営相談窓口からどのような支援を受けたいですか。3つ以内で選んでお答えください。(単位:%)



提携事業所にお勤めのみなさまへ

職域サポート契約制度

下記の
ローン商品の金利を
店頭表示金利から
年1.50%
引き下げます。
※ただし、他の金利引き下げ適用との
重複はできません。



職域サポート契約制度とは? 当金庫と職域サポート契約制度を締結いただいている提携事業所にお勤めの皆様全員が対象となり、各種ローンをご利用される場合、特別金利でご利用いただける制度です。

提携事業所は、次のいずれの要件も満たすものとします。

- ①当金庫営業区域内で事業を営んでいる法人・個人事業所（従業員数5名以上）であること。
- ②手形交換所または電子債権記録機関の取引停止処分のないこと。
- ③当金庫との取引の有無は問いません。（当金庫営業区域内の地方公共団体等）

ご利用いただける方（下記の条件をすべて満たされる方）

- 契約先の代表者、役員または従業員の方
- 申込時の年齢が20歳以上の方
- 保証会社の保証が得られる方

職域サポート契約制度の対象ローン（一社）しんきん保証基金6商品

カーライフプラン

通常金利 **マイナス金利適用後**【固定金利・保証料込み】

年6.130% → 年**4.630%**

通常金利 **マイナス金利適用後**【変動金利・保証料込み】

年5.755% → 年**4.255%**

- ご融資期間/3か月以上10年以内（元金返済据置は6か月以内）
- ご融資金額/1,000万円以内（1万円単位）
- お使いみち/新車購入、中古車購入、バイク購入、パーツ・オプションの購入・取付、免許取得、車検・修理、自動車保険、車庫設置、自動車購入資金の借換（申込人本人が借入したローンに限る）などの資金（ただし、営業用車両や個人から購入する車両は除きます。）
- 保証料/金利に含まれます。

教育プラン

通常金利 **マイナス金利適用後**【固定金利・保証料込み】

年4.555% → 年**3.055%**

通常金利 **マイナス金利適用後**【変動金利・保証料込み】

年3.655% → 年**2.155%**

- ご融資期間/3か月以上16年以内（元金返済据置は卒業予定月まで）
- ご融資金額/1,000万円以内（1万円単位）
- お使いみち/ご本人またはご本人の子弟、孫、被扶養親族が学校（教育施設）に入学または在学するために必要な次の資金●幼稚園から大学、大学院（法科大学院含む）、専門学校、各種学校、予備校などの学校納付金（入学費、授業料、設備費など）●教材費、下宿費用、引越費用、受験費用、交通費等の付帯費用（100万円以内）●留学費用●教育関連資金の借換資金
- 保証料/金利に含まれます。

リフォームプラン

通常金利 **【変動金利・保証料込み】**

年3.855% **マイナス金利適用後**

→ 年**2.355%**

- ご融資期間/3か月以上15年以内（元金返済据置は6か月以内）
- ご融資金額/1,000万円以内（1万円単位）
- お使いみち/申込人が居住（居住予定を含む）し申込人もしくは家族が所有している自宅、または家族が居住（居住予定を含む）し申込人が所有している自宅に関する次の資金●住宅修繕・増改築等のリフォーム●リフォームローンの借換●リフォームまたはリフォームローンの借換と合わせた住宅ローンの借換●インテリア・家電等の購入資金（リフォームと合わせた申込で100万円まで）
- 保証料/金利に含まれます。

一般個人ローン

通常金利 **【固定金利・保証料込み】**

年9.300% **マイナス金利適用後**

→ 年**7.800%**

- ご融資期間/3か月以上10年以内
- ご融資金額/500万円以内（1万円単位）
- お使いみち/健康で文化的な生活を営むために必要な資金（事業資金、株式取得資金、投機的な性格の資金、税金支払資金、転貸資金、旧借返済資金は除きます。）
- 保証料/金利に含まれます。

※上記ローンにつきましては、事前に審査があり、審査結果によってはご希望に添えない場合がございます。
※勤務先を通じてお申込みする必要はありません。直接当金庫の担当者へご連絡ください。また、お申込みおよびお申込み内容等は個人情報ですので、勤務先へお知らせすることは一切ございません。
※金融情勢の変化により、金利は変更となる場合がございます。

子育て応援プラン

通常金利 **【変動金利・保証料込み】**

年3.655% **マイナス金利適用後**

→ 年**2.155%**

- ご融資期間/3か月以上10年以内
- ご融資金額/100万円以内（1万円単位）
- お使いみち/出産・子育てにかかる次の資金（但し、支払済資金を除く）
①出産・子育て・小学校入学準備に必要な資金
②申込人が①を便途として当金庫を含む金融機関から借り入れたローンの借換資金および借換に伴う繰上返済にかかる手数料（①と合わせた申込に限る。）
- 保証料/金利に含まれます。

ブライダルローン

通常金利 **【変動金利・保証料込み】**

年7.850% **マイナス金利適用後**

→ 年**6.350%**

- ご融資期間/3か月以上10年以内
- ご融資金額/500万円以内（1万円単位）
- お使いみち/本人または子の挙式費用・披露宴費用・その他結婚に関する費用。但し、結婚金は除きます。
- 保証料/金利に含まれます。

商品の詳しい内容につきましては、お近くの窓口またはホームページにてご確認ください

QRコードを読み取っていただくと結城信用金庫のホームページにアクセスできます。



平成28年5月2日現在

— 後 記 —

ユーシン景気動向調査に、ご理解とご協力を頂きまして、厚くお礼申し上げます。皆さまのご意見、ご希望をどしどしお寄せください。

結城信用金庫営業統括部
〒307-8601 結城市大字結城557番地
TEL (0296)32-2110 FAX (0296)33-0414
Eメール yukisb@intio.or.jp http://www.shinkin.co.jp/yuki/